

製品名: CaMKII α/δ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00394**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 54 kDa; Observed MW: 54 kDa

抗原情報

遺伝子名	CAMK2A/CAMK2D CAMK2A; CAMKA; KIAA0968; Calcium/calmodulin-dependent protein kinase type II subunit alpha; CaM kinase II subunit alpha; CaMK-II subunit alpha; CAMK2D; CAMKD; Calcium/calmodulin-dependent protein kinase type II subunit delta; CaM kinase II
別名	
遺伝子 ID	815/817
SwissProt ID	Q9UQM7/Q13557
免疫原	抗血清はヒト CaMK2 α/δ 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 256-305

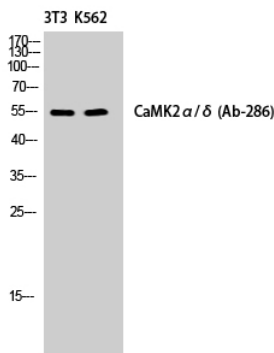
背景

CAMK2A (カルシウム/カルモジュリン依存性プロテインキナーゼ IIα) の産物は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリー、および Ca(2+)/カルモジュリン依存性プロテインキナーゼサブファミリーに属します。カルシウムシグナル伝達は、グルタミン酸シナプス可塑性の様々な側面において重要です。このカルシウムカルモジュリン依存性プロテインキナーゼは、α、β、γ、δの4つの異なる鎖で構成されています。この遺伝子によってコードされるα鎖は、海馬の長期増強 (LTP) と空間学習に必須です。このタンパク質は、カルシウムカルモジュリン (CaM) 依存性活性に加えて、自己リン酸化を受けることで CaM 非依存性活性を発揮します。CAMK2A には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写産物バリエーションが同定されています。

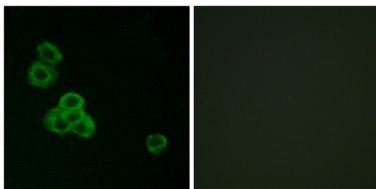
研究分野

神経科学

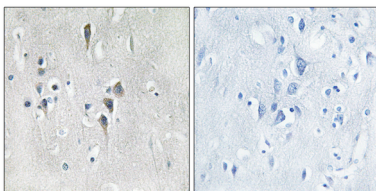
画像データ



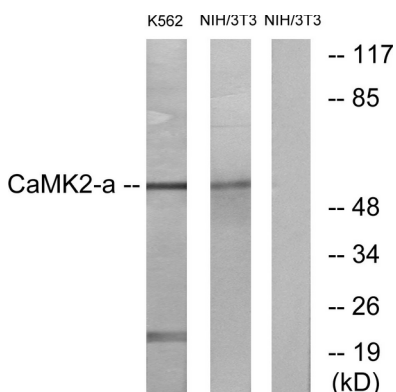
CaMKII アルファ/デルタ抗体を使用した NIH3T3/K562 溶解物中の CaMKII アルファ/デルタのウェスタン ブロット分析。



MCF-7 における CaMK2α/δ 抗体を用いた CaMKIIα/δ の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドを用いてブロッキングした状態。



CaMK2α/δ 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプル。



CaMKII アルファ/デルタ抗体を使用した NIH/3T3 および K562 溶解物中の CaMKII アルファ/デルタのウェスタン ブロット分析。右側のレーンは合成ペプチドでブロックされています。

